

区立板橋第六小学校に係る 改築検討会

2024年 12月 16日

場所：板橋区立文化会館 第4 会議室

これまでの流れと本日のテーマ

コンセプト案の作成をしました。



WSを行い、平面ゾーニング検討案を提案していただき、比較や法適合の検討をおこないました。（A案～C案）



A案～C案について意見を出していただきました。



本日は建物配置の候補案を絞ります。

本日の流れ

前回の改築検討会でいただいたA案～C案
についての意見を振り返ります。



A案～C案についてみなさんで考えていただきます。



最後に、ひとりずつ推薦案について、
ご意見とご要望をいただきます。



本日は**建物配置**の候補案を絞ります。

部屋の大きさや位置等は、今後実施する「基本設計」で
みなさんからご意見をいただきます。

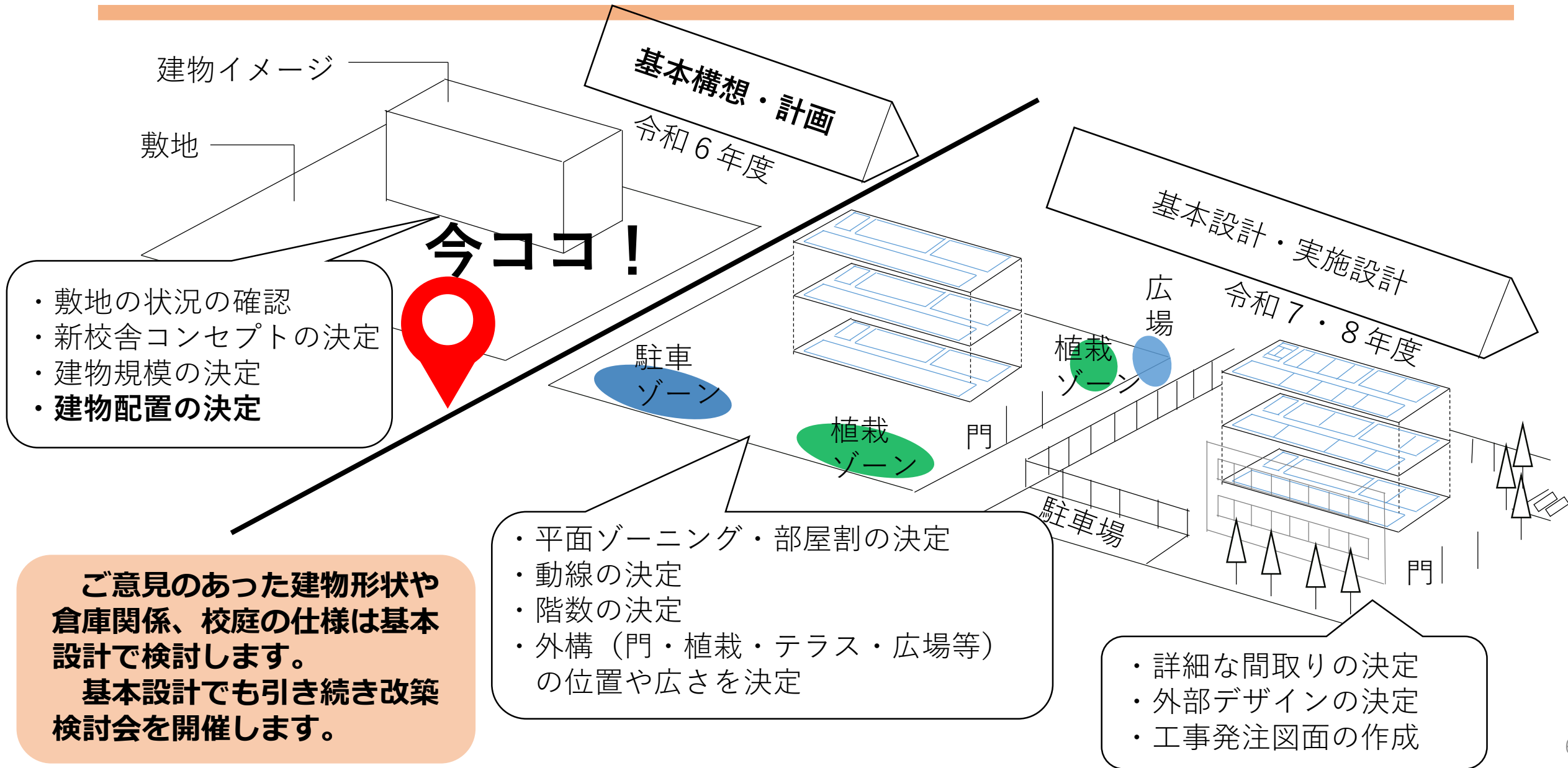
A～C案でいただいた意見 1

番号	ご意見	回答
①	建物の形は隅切りをするや曲面を使うなど、整形でなくても良いのではないかな。	建物の形状については、部屋の機能や外観デザイン、周辺への圧迫感等も考慮し、今後検討していきます。
②	地域密着型の学校にしてほしい。	のちほどご説明します。（ご意見1）
③	防災備蓄倉庫は外から出入りできるようにしてほしい。また、体育館の近くにしてほしい。	防災備蓄倉庫は、外から出入りできるようにします。位置については、「基本設計」のなかで検討します。
④	人工芝だと防災訓練ができないのではないかな。	現在の校庭の使用方法や他の学校の事例を踏まえながら、車両をとめる場所の確保等「基本設計」のなかで検討します。 なお、他校では人工芝で防災訓練を実施しています。
⑤	エレベーターは設置されるのか。	設置します。
⑥	プールの使用頻度が低いいため、別用途（スケートリングなど）に使えないのか。	のちほどご説明します。（ご意見2）
⑦	昇降口の向きや位置に配慮してほしい。玄関は顔だと思うので、シンボリックな門と合わせて検討してほしい。	のちほどご説明します。（ご意見3）

A～C案でいただいた意見 2

番号	ご意見	回答
⑧	グラウンドを広く確保してほしい。塀の位置も合わせて検討してほしい。	グラウンドをできる限り広くとれるよう検討するとともに、屋上スペースの利用についても検討していきます。また、塀の位置もセキュリティの範囲を考慮し、「基本設計」のなかで検討していきます。
⑨	擁壁の高低差を有効利用して計画できないか。	のちほどご説明します。（ご意見4）
⑩	敷地の北側部分角部分を隅切りして、地域に開放した広場にしてほしい。	のちほどご説明します。（ご意見5）
⑪	工事期間が60ヵ月は長いのではないか。	のちほどご説明します。（ご意見6）
⑫	学校運営を考えると階数が低い校舎の方が良いと思う。	階数をできる限り抑え、児童の上下移動負担を少なくするよう努めます。
⑬	学級数が将来的に減った時の対応は何か考えているのか。	のちほどご説明します。（ご意見7）

「基本設計」のご説明をします。



ご意見 1 の地域密着型の学校について



地域活動を廊下側から垣間見ることができる（北海道）



老人会による生活科での「野菜の先生」（愛知県）



地域ボランティアによる囲碁教室（品川区）



板橋第十小学校の地域連携室



地域コミュニティの拠点



上二テラス（避難所設営時の炊き出し）（上二中）

「ウェルビーイング向上のための学校施設づくりのアイデア集」
「地域と学校の連携・協働の推進に向けた参考事例集」文部科学省より

＜板橋区での地域連携室等の事例＞

- ・板橋第十小学校の地域連携室兼PTA室：50㎡程度
- ・上板橋第二中学校の地域連携室兼PTA室：44㎡程度
- ・上板橋第一中学校の地域連携室：62㎡程度

文部科学省は、「**地域学校協働活動**」として、学校支援活動（登下校の見守り、花壇等の学校環境整備、授業補助等）、放課後子供教室、土曜日の教育活動、家庭教育支援活動、学びによるまちづくり、地域社会における地域活動等を推進しています。

地域と学校が連携・協働して幅広い地域住民等の参画により地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生することを目的としています。

次回のワークショップで「**地域とともにある学校づくり**」（地域連携、地域開放するゾーン、板六小のために取り組みたいこと）を検討します。

ご意見2のプールを別に利用する方法について (参考事例)

千代田区立九段小学校



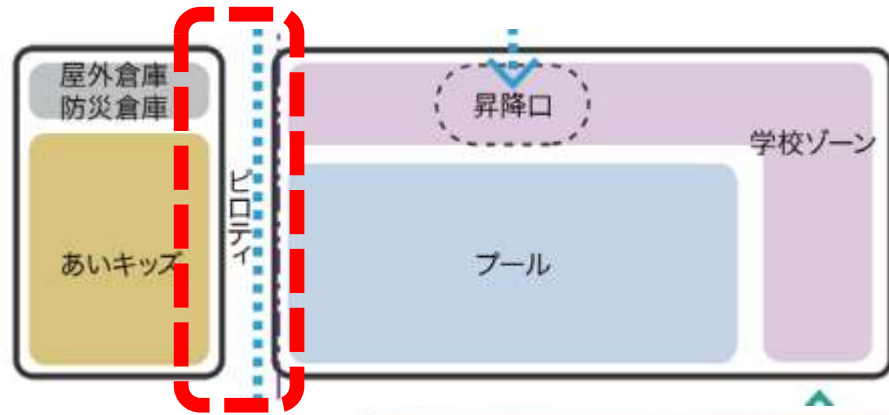
プール授業を実施しない期間は、昇降床を上昇させ、人工芝を敷きます。

「屋内多目的運動スペース」
(軽運動スペース) や「屋内イベントスペース」として利用することができます。

東京都市大学付属小学校



ご意見3の昇降口の向きや位置やシンボリックな門について（参考事例）



ピロティ部分のイメージ



上板橋第二中学校



板橋第十小学校

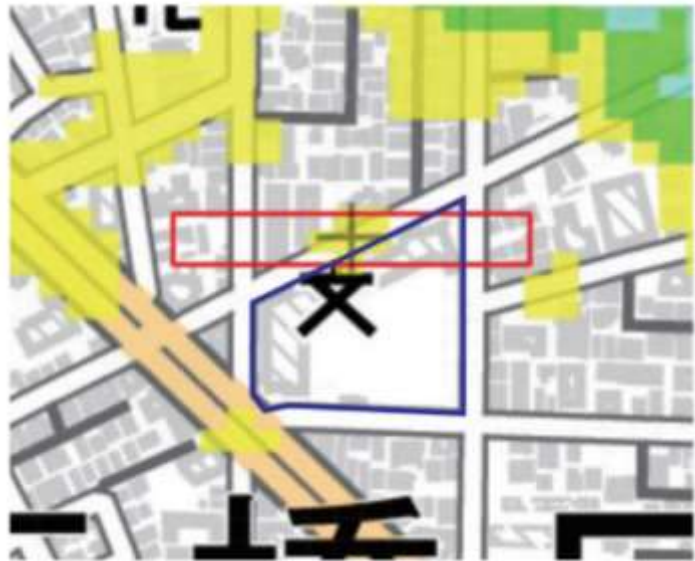
詳細については、基本設計で検討します。

ご意見 4 の擁壁の高低差の有効利用について

敷地の北側が0.1～0.5m未満の浸水リスクのあるエリアとなっています。

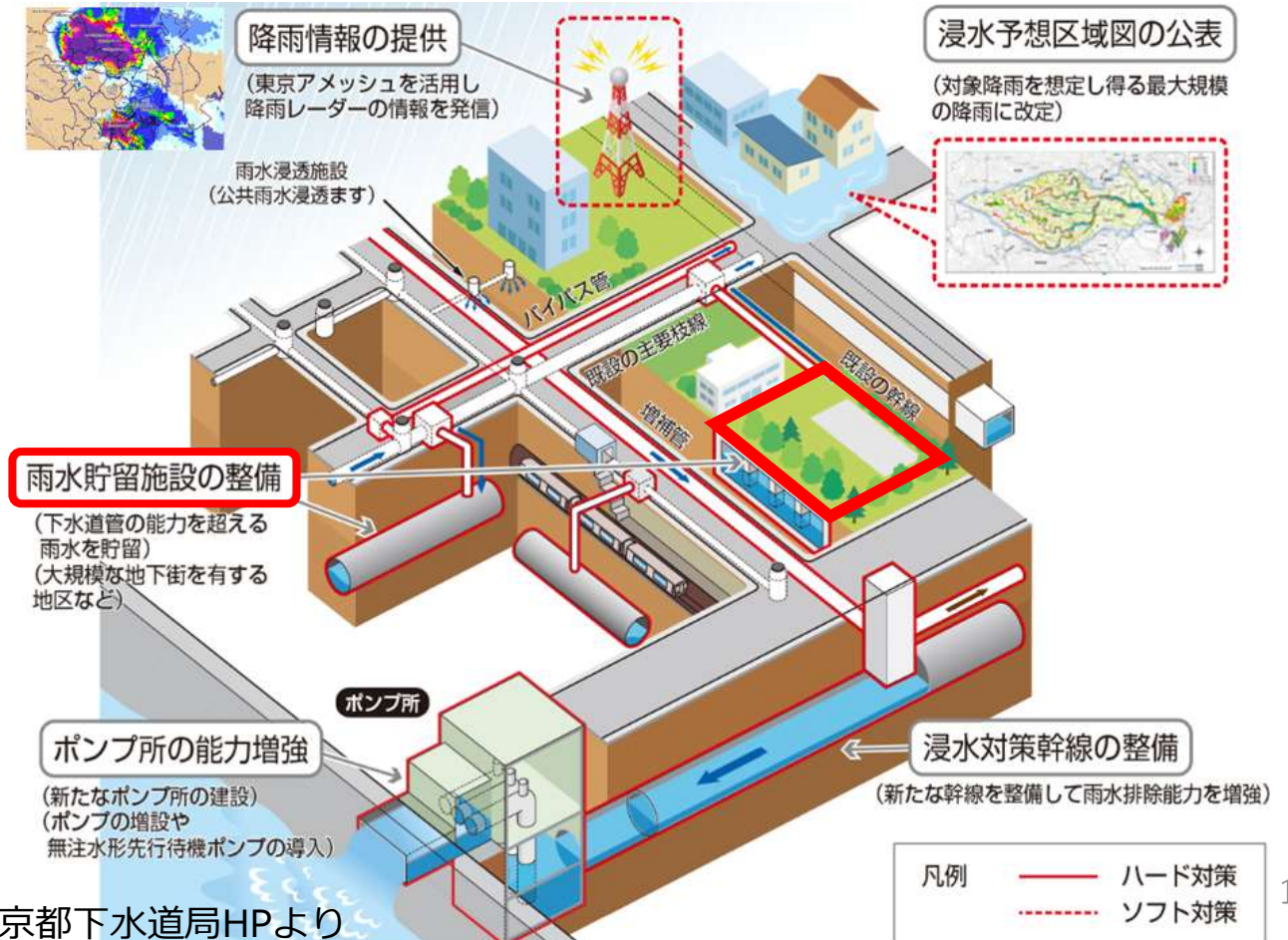
そのため、北側部分の地下に建物を計画した場合、建物内に浸水する可能性が高まります。

設備等により対応することは可能ですが、建設費や維持管理費が高くなるため、地下を設ける場合でも校舎と一体化した配置を検討しています。



黄色部分 : 0.1～0.5m未満の浸水リスク

なお、小学校の敷地内に雨水貯留槽等を設置して大量の雨水を処理することで、周辺地域の安全性を高めることができます。



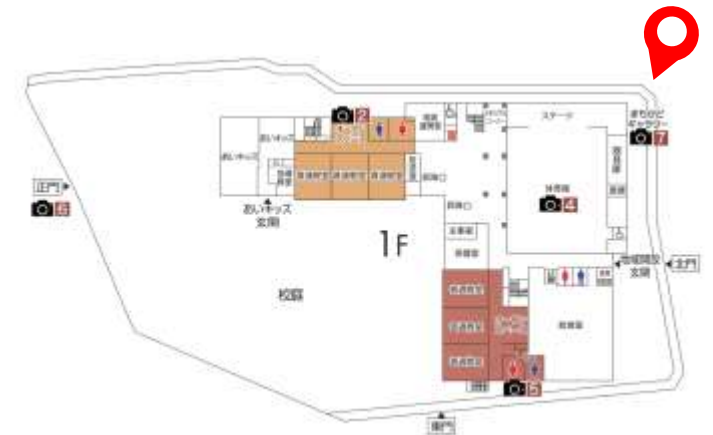
東京都下水道局HPより

ご意見 5 の敷地の北側部分角部分を隅切り、 地域に開放した広場について（参考事例）

板橋第六小学校敷地北側状況



敷地周辺の歩道部分にポケットパークを計画し、ベンチ等を設置して地域の方が交流できるような計画をしました。また、ポケットパークには、学校の展示スペースとなる「まちかどギャラリー」を設置して学校から地域へ情報を発信できる場を設けています。



板橋第十小学校

設置場所や仕様などの詳細については、基本設計で検討します。

ご意見 6 の工事期間について

STEP1 新校舎（Ⅰ期）建設



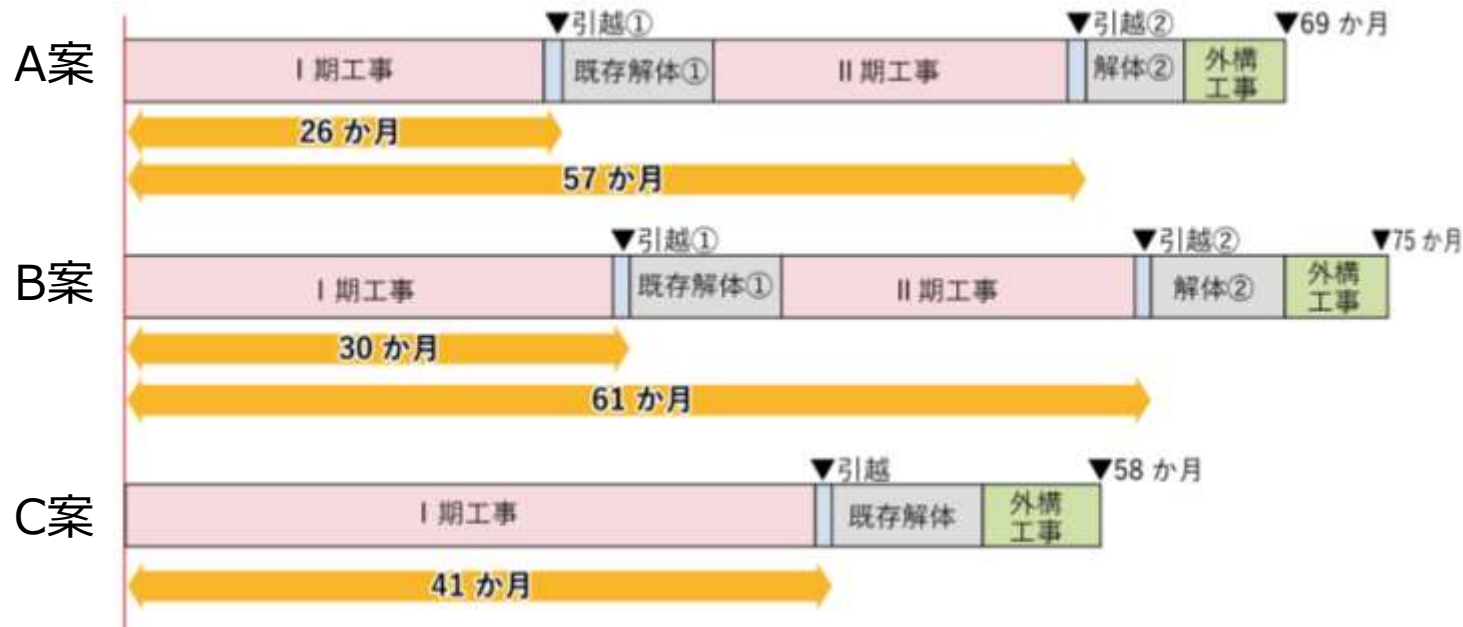
STEP2 既存校舎解体①



STEP3 新校舎（Ⅱ期）建設



STEP4 既存校舎解体②・グラウンド整備・プール改修



案ごとの工期比較

案	学校ゾーンの引越までの 期間（Ⅰ期工事）	建物完成 （Ⅱ期工事）	全体工期 （外構含む）
A案	2年2ヵ月（26ヵ月）	4年9ヵ月（57ヵ月）	5年9ヵ月 （69ヵ月）
B案	2年6ヵ月（30ヵ月） ※既存校舎を一部利用	5年1ヵ月（61ヵ月） ※学校ゾーンの引越完了	6年3ヵ月 （75ヵ月）
C案	3年5ヵ月（41ヵ月）		4年10ヵ月 （58ヵ月）

※検討により変更する場合があります。

ご意見 7 の学級数が減った時の対応について

児童数・学級数の将来推計（令和6年11月1日現在）

		令和10年度	令和15年度	令和20年度	令和25年度	令和30年度
普通学級	児童数	407人	643人	759人	608人	400人
	学級数	13学級	22学級	24学級	20学級	14学級

令和20年前後がピーク



- 将来的にほかの公共施設との複合化や地域利用の拡大に配慮した計画とします。

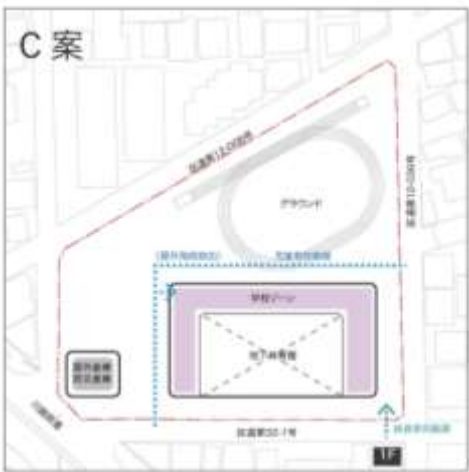


学校複合施設の集会室事例

A～C案→別紙 資料2をご覧ください。

配置計画比較表	A案 敷地南側配置（段階整備）	B案 敷地東側配置（段階整備）	C案 敷地南側配置（段階整備なし）
---------	--------------------	--------------------	----------------------

校舎配置イメージ



階数	地上 5 階程度	地下 1 階 地上 6 階程度	地下 1 階 地上 7 階程度
移動の負担	中	大	大
校庭の大きさ・広場	中 + 屋上広場を設置可能	中	大
学校ゾーンの引越	2 年 2 か月	2 年 6 か月 ※既存校舎を一部利用	3 年 5 か月
全体工期	5 年 9 か月	6 年 3 か月	4 年 10 か月
近隣への圧迫感	小	中	大
コスト	中	やや高め	高め

※詳細は今後の設計にて検討します。